

第20回 アストロトーク



講演 13:30 - 14:30

『ビッグバンの残光発見から50年』

京都千年天文学街道

京都情報大学院大学 作花一志 氏

4次元宇宙シアター 14:45 - 15:30

『3Dメガネでみる宇宙のすがた ～火星のお話～』

京都大学大学院理学研究科附属天文台 青木成一郎 氏

2015年5月24日(日) 13:30 - 15:30 (受付13:15から)

開催場所: 京都大学総合博物館[百万遍下ル] 3階講演室

参加条件 : 小学生以上(小学生は保護者同伴)

参加費資料代 : 小中学生500円、一般(高校生以上)1,000円

申込方法 5月19日(火)申込み〆切

インターネットの場合は

<http://www.tenmon.org/>

お電話の場合は

075-823-3640 (10:00-18:00 受付)

株式会社ビューティフルツアー (担当:岡本)

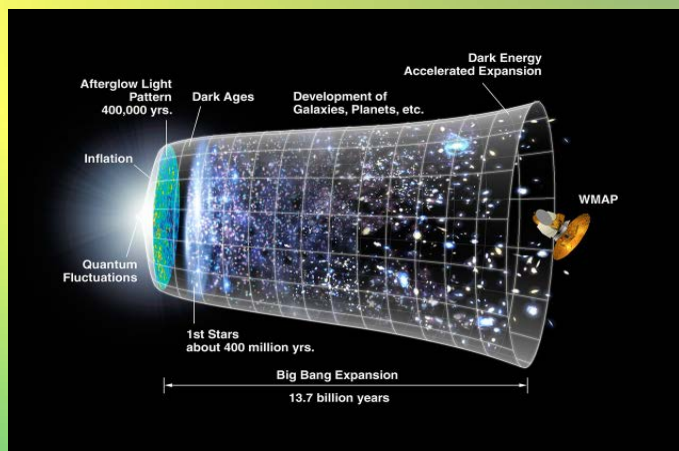
別途、博物館の入館料が必要です。

小中学生200円、

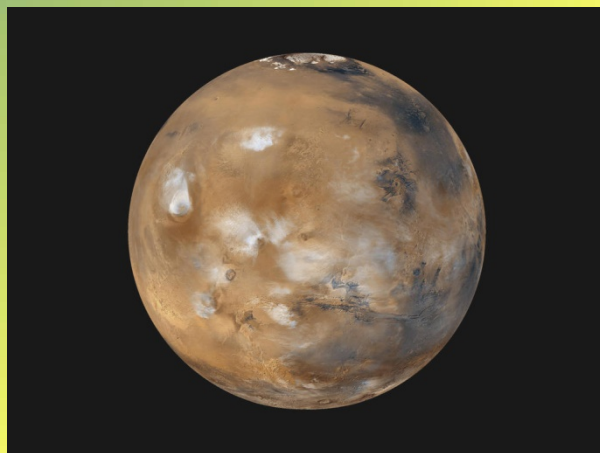
高校大学生300円、

一般400円

身体障害者手帳をお持ちの方、70歳以上の方は入館料無料(年齢確認ができるものをご提示ください。)



宇宙の進化(提供 NASA)



火星(提供 NASA)



主催 認定NPO法人花山星空ネットワーク

共催 京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科附属天文台

後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会

協力 株式会社ビューティフルツアー、株式会社ヒーロー

<http://www.tenmon.org> (京都千年天文学街道ホームページ)

・ アストロトークの概要

- 講演の概要:** 今年はユネスコによりInternational Year of Light=国際光年と指定され世界中で様々なイベントが行われます。光といっても白熱電灯や青色LEDのことではなく、2015年は天文学・物理学にとっては節目の年なのです。今回は宇宙最初の光について考えてみましょう。
- 4次元宇宙シアターの概要:** 国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト提供の Mitaka を使用し、3Dメガネをかけて最新天文学に基づく宇宙のすがたを見ましょう。太陽や太陽系、天の川銀河から宇宙の地平線まで触れていきますが、特に今回は、火星のお話に重点を置いて説明します。

・ 講演者紹介



作花 一志(京都情報大学院大学):講演担当

- 専門は古天文学。歴史に残された天文記事を計算で再現し天変と言われた現象や過去から未来の惑星直列や小惑星ニアミスなどを調べている。また、天文教育普及研究会にて編集委員長を長く務めた。著書「天文学入門」(オーム社)「歴史を揺るがした星々」「天変の解説者たち」(恒星社厚生閣)など。



青木 成一郎(京都大学理学研究科附属天文台):4次元宇宙シアター担当

- 専門は宇宙プラズマ物理学。天文教育普及にも力を入れており、4次元宇宙シアターによるイベント運営多数。「京都千年天文学街道」実行副委員長。「平成25年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門」受賞。

・ 京都大学総合博物館への行き方



総合博物館周辺の地図



■京都市バスをご利用の場合
 JR/ 近鉄京都駅から17,206 系統
 阪急河原町駅から3,17,31,201 系統
 地下鉄烏丸線今出川駅から201,203 系統
 地下鉄東西線東山駅から31,201,206 系統
 百万遍(ひやくまんべん) 停留所で下車徒歩約2分

■京阪電鉄をご利用の場合
 京阪本線“出町柳(でまちやなぎ)”駅で下車、今出川通りを東進し、百万遍(ひやくまんべん) 交差点を南に折れてすぐ(出町柳駅から徒歩15分)

京都千年天文学街道では、天文関連史跡めぐりながら、京都での千年にわたる天文観測と天文学研究の繋がりを学ぶまち歩き「京都千年天文学街道ツアー」も開催しております。詳しくは、京都千年天文学街道のチラシ、またはホームページをご覧ください。



京都千年天文学街道ホームページ

<http://www.tenmon.org>

QRコード(携帯電話など)→

